

令和 5 年 5 月 31 日

株式会社 インボイス
代表取締役社長 加茂 正巳

株式会社千葉興業銀行と BPO サービスにおける業務提携のお知らせ

芙蓉総合リース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 織田寛明、以下「芙蓉リース」）の連結子会社である株式会社インボイス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 加茂正巳、以下「インボイス」）は、株式会社千葉興業銀行（本社：千葉県千葉市、取締役頭取 梅田仁司、以下「千葉興業銀行」）と BPO※1 サービスの提供を目的とした顧客紹介に関する業務提携契約を締結しました。

インボイスの提供する BPO サービス「一括請求サービス」（以下「本サービス」）は、法人のお客様の通信費や水道光熱費の請求を集約し、その支払いを代行することで、お客様の請求処理業務の効率化およびコスト削減による経営課題解決のサポートをしています。

千葉興業銀行は、長期的な視点に立ち、伴走型コンサルティングとして五大ニーズ（事業承継・人材不足・経営効率化・DX・脱炭素）に取り組むことで、様々なステークホルダーの価値創造に配慮した経営と持続的かつ安定的な成長による企業価値の向上を実現し、その結果、地域の経済、産業、社会の持続的な発展、繁栄に貢献しています。

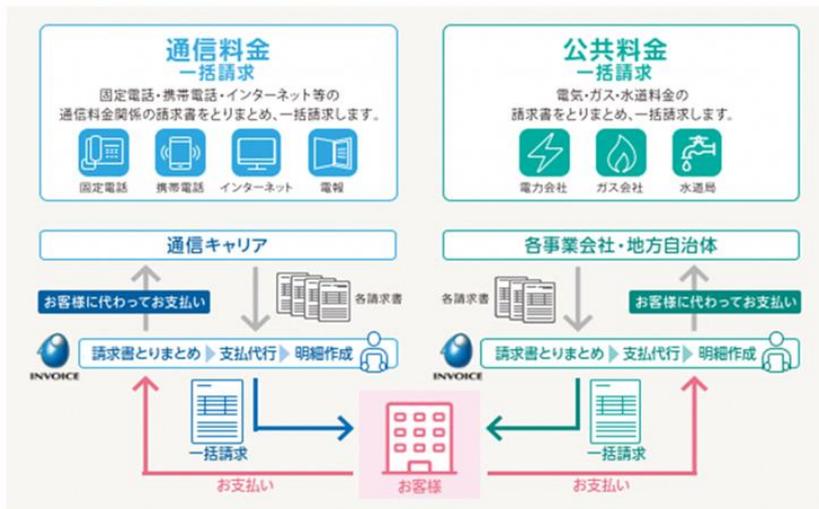
一方、インボイスは『お客様の「新たな価値創造時間の創出」を通じ、豊かな社会の実現と持続的な成長に貢献する。』を標榜し、一括請求サービス提供を通じてお客様の請求処理業務の効率化およびコスト削減による経営課題解決のサポートをしており、労働人口減少に伴う人手不足や働き方改革を背景とした「業務効率化」や「生産性向上」ニーズの高まりに応えるため、本提携に至りました。

本提携を通じて千葉興業銀行の取引先企業の DX 推進、電気等使用量把握による CO2 排出量管理、脱炭素経営を支援し、企業価値向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。なお、インボイスと金融機関の業務提携は全国 40 都道府県に広がり、累計 60 行となりました。

※1 ビジネス・プロセス・アウトソーシングの略、企業が業務プロセスの効率化、最適化を目的に社内の業務処理の一部もしくは全部を専門の事業者へ外部委託（アウトソーシング）すること。

【提携により提供を開始するサービス】

- 通信料金の一括請求サービス URL <https://gi.invoice.ne.jp/>
- 公共料金の一括請求サービス URL <https://onevoice.invoice.ne.jp/>

◆ 「一括請求サービス」の概要
① 一括請求サービスでサポートできること

② 一括請求サービスのメリット

①業務効率化 (時間削減)	②ペーパーレス化 (電子化・DX)	③法令対応 (インボイス制度・電帳法)	④コスト削減 (見える化)	⑤脱炭素経営 (CO ₂ 排出量の把握)
煩雑な業務を削減	請求書の電子化	適格請求書・立替金精算書	通信費の削減提案	各種使用量をデータ還元
バラバラに届く請求書の開封・ファイリング、さらに各部門への配賦・不明点の確認など、支払業務担当者の時間を奪っていた煩雑な業務を削減します。	サービスをご利用いただくだけで請求書の約34%を削減※、ペーパーレス化に寄与します。また、請求書の電子化で業務のDXに貢献します。 ※全請求書に占める通信費・公共料金の請求書の比率は34%(当社調べ)	当社が全てのインボイスを確認・判別(支払先名称・登録番号・取引内容・税区分など)し取引事業者毎にサマリー化します。Gi通信は「適格請求書」を、OneVoice公共は「立替金精算書」を発行します。また、タイムスタンプの付与を選択でき電子帳簿保存法にも対応しています。	お客様の請求情報から通信の利用状況を自動的に分析し、「通信費削減ポテンシャル」として、毎月最新の情報を Portal サイトにて還元します。未使用回線の廃止や、インボイス光転用によるコスト削減など、見える化を通じた削減提案を強みとしています。	バラバラの請求書や納付書をまとめ、拠点毎の各種使用量をデータ還元するので、把握が正確且つ楽になります。

以上

お問い合わせ先

株式会社インボイス

法人営業部 (担当) 伊藤

電話番号 03 (5275) 7211

 URL <https://www.invoice.ne.jp>